

発明の名称：生体管路拡張器及びカテーテル

利用・用途・応用分野

無料開放特許

生体管路拡張器、カテーテル、生体管路拡張用ステントに利用可能

目的・課題

従来のステントは挿入時径方向への収縮及び拡張時の径方向への拡大を実現するために金属製又は樹脂製で網目状筒体に形成されていたため、生体管路の拡張力が弱く、弾性や塑性変形特性を与えるために構造が複雑になる等の問題点があった。

解決ポイント

中空管体と弾性を有し、円周方向には変形しにくく、かつねじれ変形の付与によりコイル状に折り畳まれて中空管体に装着されたステントと、ステントを中空管体外へ押し出すための押出手段とを備える構成の管路拡張器、カテーテルである。

研究概要・アピールポイント

本発明の生体管路拡張器及びカテーテルでは、ステントはフレキシブルで弾性があるため生体管路に与えるストレスを小さくできるうえ、コイル状輪に小さく折り畳まれることができ、しかもステントを所望の狭窄部で確実かつスムーズに拡張することができる。また、径を小さくして折り畳まれることができ、小型に構成することができる。

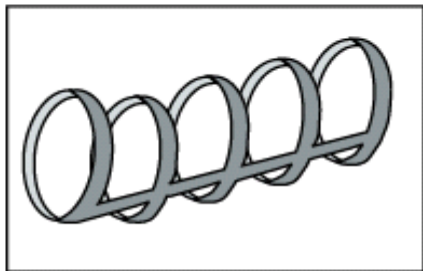


図1. 本発明によるステント

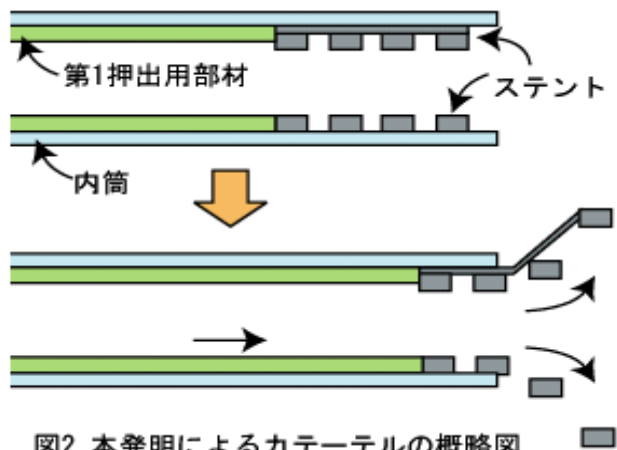


図2. 本発明によるカテーテルの概略図

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp